

安政東海地震・南海地震

災害の概要：

それぞれの発生日時と規模：

東海 1854年12月23日

(安政元年[嘉永七年]十一月四日)

10時前 マグニチュード8.4

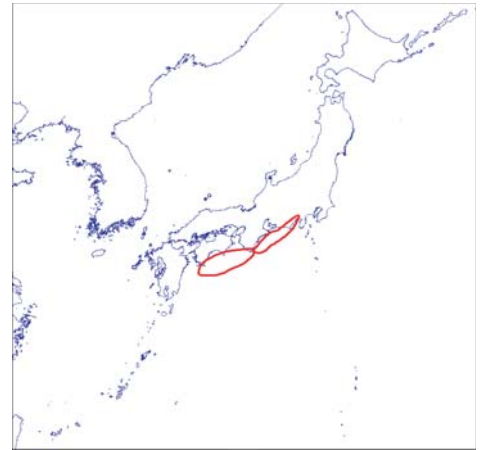
南海 24日(五日)16時頃 マグニチュード8.4

発生場所：紀伊半島からそれぞれ駿河湾、足摺岬辺り
までの南海トラフ沿い

地震の種類：フィリピン海プレートと西南日本との間に
発生したプレート間の巨大地震

死者数：それぞれ数千人？

全壊・流失・焼失家屋：両方で7万5軒程度



この二つの地震は、昭和の終戦前後の1944年東南海地震と1946年南海地震の1回前の南海トラフ沿いに発生した巨大地震です。幕末のこのときには、昭和のときのように2年間の間隔をおかず、僅か30時間ほどの間に立て続けにM8.4と、昭和のときより数倍大きい地震が発生しました。そのため、特に紀伊半島などではどちらの地震による被害かを区別しにくいのですが、展示されている現在の大阪まで押し寄せた津波被害は、南海地震によるものです。

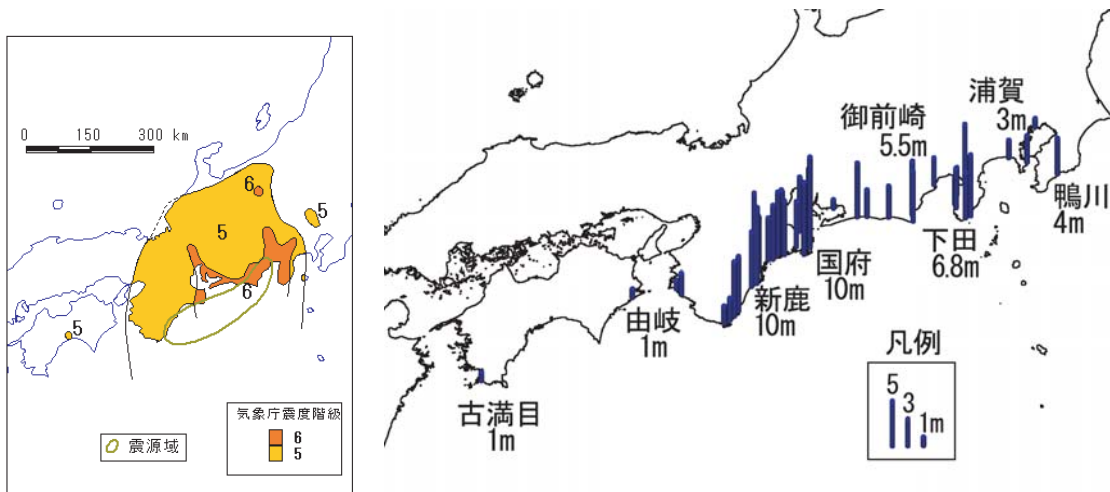


図1, 2. 安政東海地震の各地の震度と津波の高さ

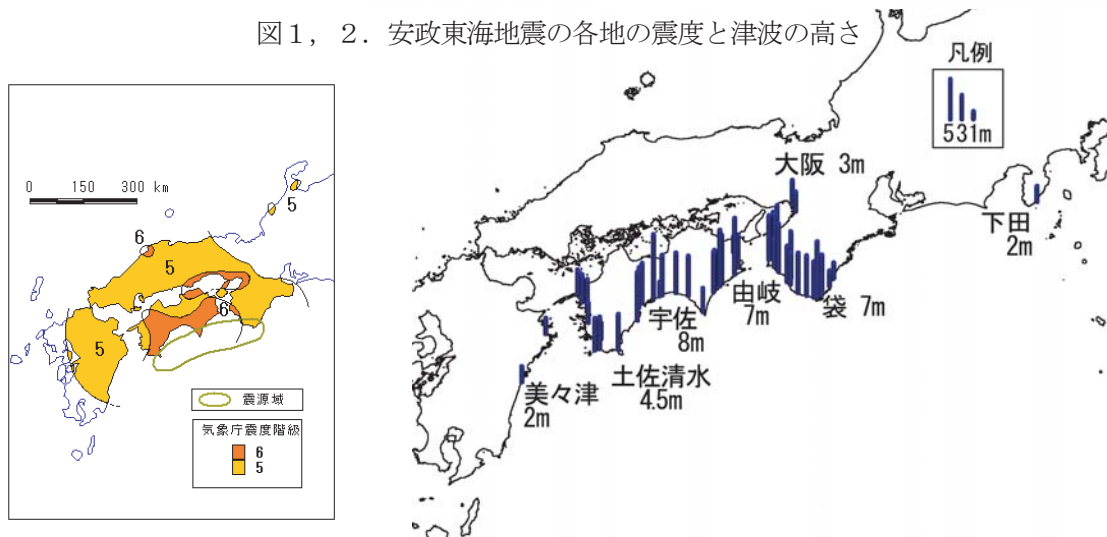


図3, 4. 安政南海地震の各地の震度と津波の高さ